

わき水探し「利き水」も

東山 子どもら100人が参加

清水寺・音羽の滝や伏見・御香水など



わき水を探る子どもたち=東山区の清水寺で

世界水フォーラム
'03

清水寺の裏山でわき水を探したり、同寺境内にある音羽の滝や伏見の御香水など5種類の水を飲み比べる「利き水」を楽しんだ。世界の水問題を子どもの視点で考え、メッセージを発信する「世界

子どもたちに水や環境について関心を持つてもらおうと、「『子ども水フォーラム』と子どもの参画」が6日、東山区の清水寺で行われた。子ども

もや大学生のボランティ

アスタッフなど約100人が参加。子どもたちは、清水寺の裏山でわき水を探したり、同寺境内にある音羽の滝や伏見の御香水など5種類の水を飲み比べる「利き水」を楽しんだ。世界の水問題を子どもの視点で考え、メッセージを発信する「世界

子ども水フォーラム」に向けたイベントとして行われた。

嘉田由紀子・京都精華大学教授が司会を務めた対談では、「子ども」「水」「まち」をテーマに話し合われた。米山俊直・大手前大学長が「世界の大

部分の子どもは水くみなどの重労働を行つてい手前大学長が「世界の大津市立藤尾小2年」と憧眞君(6)「同1年」は兄弟でイベン

トに参加。水を探すため

に登った裏山では、「こんな感じにわき水があった」「水がおいしい」とほしゃいでいた。

【平野圭祐】

水とのかかわり方を学ぶことが必要ではないか」と話す木下勇・千葉大助教授は「水辺を昔のような自然な形に戻す」と話す。木下勇・千葉大助教授は「水辺を昔のよ